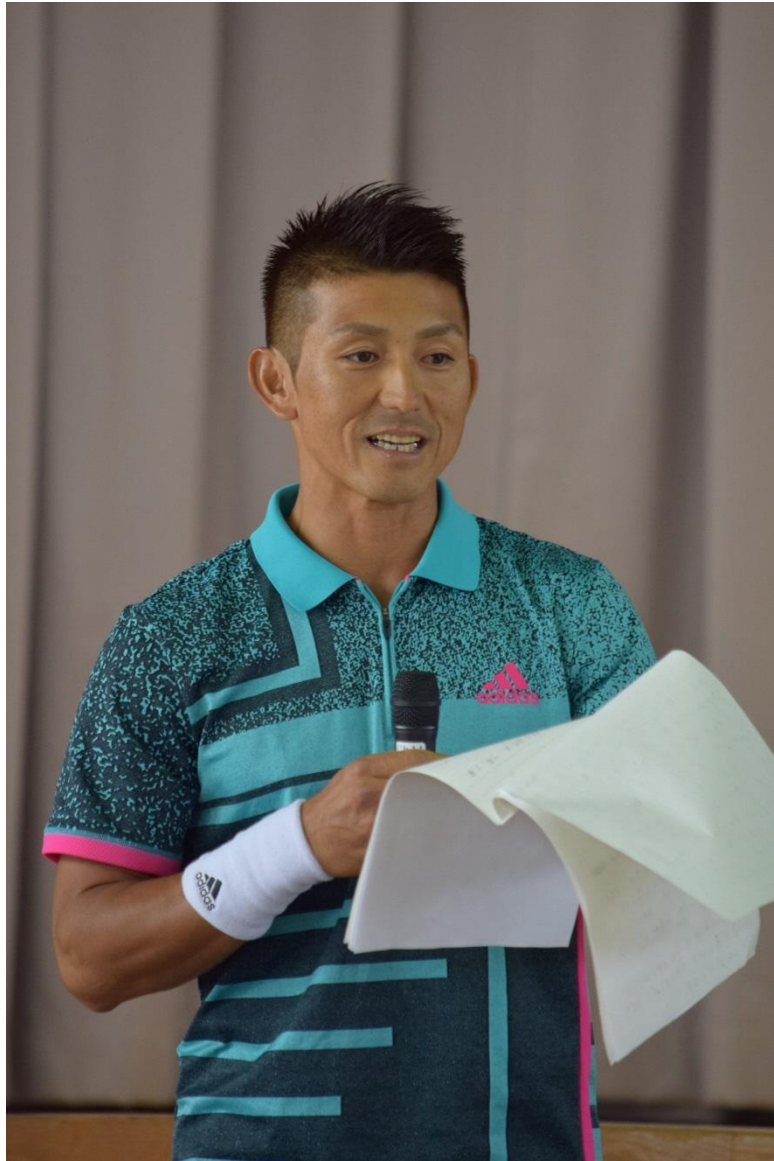


「挑戦続け夢つかもう」／テニス・比嘉さん 母校・伊江小で講演



比嘉明人さん



比嘉さん（前列中央）と記念撮影する伊江小の児童ら＝伊江小学校体育館

【伊江】全校児童で10月30日の「世界のウチナーンチュの日」を祝い、世界に目を向けて、自らの可能性を自覚して夢や希望を育もうと、伊江小学校（比嘉悟校長）でこのほど、同校の卒業生でテニスプレイヤーの比嘉明人さん（36）を招いた講演会が開かれた。「チャレンジ！やり続けることで夢をつかもう」と題し講演。比嘉さんは3歳のころから父の指導でテニスを始め、小学2年生から県内の大会に出場し、九州大会や全国大会で優勝を果たしたという。6年生の時に日本代表としてオーストラリアの大会に出場。その後、高校総体や全日本選手権大会に出場し、1999年から成年の県代表として国体にも出場している。現在は東京都のテニスユニバース社でテニスコーチとして勤務する傍ら、テニスプレイヤーとして各地を転戦。実業団にも

所属し、男子チームの監督兼プレイヤーとしてチームの主軸となっている。比嘉さんは中学1年から1人で海外でのテニス合宿や遠征に参加してきた。「両親が協力、応援してくれたおかげでテニスを続けることができた」と話し、「好きこそ物の上手なれ」と好きなことわざを児童たちに送った。また、比嘉さんが実際にサーブを披露すると、児童らは興奮した様子で見入った。館内には比嘉さんが活躍した数々の賞状やメダルなどが展示された。当時6年生の担任だった比嘉校長は「とても真面目で一生懸命だった」と語り、「世界で羽ばたけるよう将来の夢に向かって突き進もう」と児童にエールを送った。

（金城幸人通信員）

2018年11月21日(水) 琉球新報 朝刊 本紙 【地3】 市町村 25頁